



2024年5月10日発行

社会福祉法人 龍鳳ライフパートナーこぶし
〒203-0004 東久留米市氷川台 2-31-19
TEL:042-470-2385 FAX:042-470-2386
清瀬事業所/ふわっとん
〒204-0013 清瀬市上清戸 1-15-18
TEL&FAX:042-497-9481
<https://www.fukushiryuhoh.or.jp/kobushi/>

創作活動で作った、少し早
咲きのひまわりと一緒に♪



理事長 貝沼 寿夫

ともしび

先日、24年前の開所当時からライフパートナーこぶしで生活されていた方が逝去されました。哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈りいたします。

ほんの数か月前までは、高齢による機能低下はあったものの、時折大きな声で職員や私を呼ぶほどお元気でした。しかしここ1か月ほどで車椅子となり、続いて介護用ベッドでの生活となり、そしてあつという間に旅立たれました。前日の記録には、その前日と比べて夕食にも時間が掛かったと記されており、この数か月で急激にその命のともしびも短くなっていったのでしよう。

以前親戚の葬儀で人生の3つの真実として、「①人は必ず死ぬ、②人生は一度しかない、③人はいつ死ぬかわからない」と言うお話を聞きました。言われてみれば至極当たり前の話ですが、日常の中でこのことをどれだけ理解して生きているかと問われると、はなはだ疑問が残ります。今回のこと際して、職員もそれぞれの心の中に様々な思いが去来していると思います。入所施設と言う性質上、利用者さん一人ひとりの生活のみならず人生そのものまでを含めて支えていかなければならない場面もあります。だからこそ、私も含めて人生の3つの真実は、常に頭の片隅に入れておくべきであり、それを理解して目の前に存在する一人ひとりの利用者さんと関わるのが重要なのだと改めて感じます。この施設で暮らせて良かった、この利用者さんの支援をさせても

らえて良かった、お互いに後悔が無くその過程に満足してお別れを目指して、1日を精一杯楽しみながら、その日々を大切に支援していきたいものです。

さて、現代社会において欠かせないものとして、パソコン・スマホが挙げられます。これらがあれば、モノや情報も瞬時に手に入れることが出来ますし、仕事を生み出すことも出来ます。すっかりそれらに依存していますが、一度充電が切れてしまつては、高性能の機器も何の役にも立ちません。

私たち人間も、エネルギーが無ければ動くことが出来ません。特に心のエネルギーとなるのが『氣』と言えるのかもしれない。陰気・無気力・弱気・短気など、こんな状態の中では、なかなか前向きにはなれず、動くことは出来ません。反対にやる気・元気・勇気・本気などは、その最たるものではないでしょうか。これらがこころの中でともしびとして灯っているのならば、前向きに動くことが出来ます。

元来人間も、パソコンやスマホの様に、誰しも優れた性能を持ち合わせているものです。しかし私を含めて、持っている能力や才能を使いこなせていません。それらを最大限発揮することこそが、人生の3つの真実を理解して生きることに当たり、そしてそのともしびを灯すことによって新しい未来も開けてくるのでしよう。人生の長短に関わらず、こころに良い氣を持ったともしびを灯し続けていたいと思います。

カフェ かわとん 今シーズン初登場!! ふわっとんイチオシ「クリームソーダ」

今回ご紹介するふわっとんのクリームソーダは、さわやかな緑色のメロンフレーバーになります。

お客様からも、「おいしい!」「懐かしいわね〜」と、大変ご好評をいただいております。

落ち着いた雰囲気の中で、レトロ感満載のクリームソーダ写真映えもバツグンです!

これから、キッチンで働く利用者さんとも相談しながらフレーバーを増やしていく予定です。



ねえねえ、きいて

生活支援員 高橋 美友

4月にお花見会がありました。一緒に車に乗って行くKさんの様子を見に行き「準備万端ですね!」と声を掛けると、「うん! どう?かっこいい?」との返しが! 気の利いた返答に思わずにっこり😊「ばっちりです!」と伝えました👍

キラリ☆と光るこの一枚



入職式の司会を見事にやり遂げました! ありがとうございます!
(石澤 泉)

1人の存在

私がこぶしに入職してから、来年で5年が経過します。その人は私が新卒で初めて見たとき、今より若々しく、言葉も明朗快活とした様子でした。当たり前のことですが、人間は年を重ねれば老います。私も5年前より疲れやすくなり、夜更かしが辛く、油っこい食べ物が苦痛に感じることもあります。

さて、その人は私の祖父と同じくらいの年齢だったので、亡き祖父と重ねることもしばしばありました。居なくなるということは、これまで存在したコップや衣服などの日用品から声や息遣いなどの情報が消えてしまいます。また年を追うごとに徐々に声、名前、顔、思い出も忘れてしまうと思います。空っぽの居室を見ると、その人はここ数日前まで普通に生活をし、苦楽を共にしていたと考えると現実味がなく、最初からいらないような不思議な気持ち、悲しみ、空虚な感情が同時に押し寄せます。1人の存在がこんなにも人の心を動かすとは思っていませんでした。

私はこの感情を胸の奥にしまいつつ、精一杯支援していこうと思います。

生活支援員 小畑 満月

フォトニュース ～4月の様子～

初心忘るべからず

☆活動風景☆

♪音楽活動♪



♡創作活動♡



新入職員の紹介です！

どうぞよろしくお祈いします

<前川 慈弦>

入職したばかりで分からない点や至らない点が多いかと思いますが、楽しく働くをモットーに頑張っていきたいです！これからよろしくお祈い致します！



氷川台自治会館

ふれあいサロン・オレンジカフェ

氷川台自治会館にて地域交流活動の一環として喫茶活動を行っています。利用者さん達が張り切って活躍してくださっています！

<開催日>

- ・第一木曜日(オレンジカフェ)
- ・第三木曜日(ふれあいサロン)
- ・第四月曜日(販売会)



バランス

バランスのよい、を実践することは容易ではないことだと考えます。以前受けた研修で、精神疾患を持つ患者は栄養状態が悪い、炭水化物と脂質の摂取が多く肥満やその他の合併症がある人も多い、との情報がありました。しかしそれは精神状態が悪かったら食事は二の次で手軽に食べられるコンビニの食品や菓子パンなどを食べ、お腹を満たすだけになるのが当たり前ではないのかと思いました。

その人の環境や体調によって3食食事をする、運動をする、十分な睡眠を取る、ができない人には何ができるか少し考えてみました。個人ではどうしようもない事に対し専門職が介入し、その人に合った計画、評価を行うことができれば、少しは改善の見込みがあるのかな、と思います。

バランスのよい食生活は管理栄養士だけでなく、医療や行政、様々な職種の方が必要だと意識しなければと感じます。

管理栄養士 小林 由記子

こぶしだよりの掲載では、今までは下の段を書かせていただくことはありましたが、上の段は初めて書かせていただきました。今年度より、フロア支援部部長を務めさせていただきます、土橋です。今後ともよろしくお願いいたします。

さて、新年度が始まり早一ヶ月が経過しました。時の流れが日に日に早くなっていくような気がしてなりません。この一ヶ月は本当に時間の流れが速く感じられ、あっという間に過ぎ去ってしまいました。今年度は新しい役職のもと、このままあっという間に過ぎ去っていきそうです。

フロア支援部は今年度より設置されました。文字通り支援についていろいろと業務に取り掛かろうと考えていますが、支援を行っていくことについては、我々生活支援員にとって入職当初から行っている業務になります。入職当初はご利用者の事がまだよく理解できておらず、右往左往しながらご利用者に教えてもらうつもりで支援を行ってきました。

今年度は新卒職員の入職もあり、OJTも担当させていただいております。業務の指導を行っている、「自分も入った時はこうだったなあ。」「同じミスをしたなあ。」等、当時を思い出させてくれる場面がいくつもあります。

今は教える立場になりましたが、新入職員の指導を通じ、ご利用者支援において自分の業務態度や支援提供は適切に行えているのか等、考えさせられる場面が沢山あり、自分が教えられている気がします。指導する事とは、時に自分の立場を超えて自分が偉くなっていると勘違いを起し、それに気づかずに周りに迷惑をかける事がある危険性を帯びています。

そのことを意識しながら、自分が入職した当初を振り返り、支援はご利用者から学びを得る機会だと捉え、ご利用者と一緒に成長していると実感できる場である事、OJTを通して、自分の業務態度や根拠のある支援の説明ができていくかと言う事を自分自身が確認しながら、おごりのない指導を心掛けるよう、初心忘るべからずを徹底して、部長という役割で仕事をしていきたいと思ひます。

フロア支援部部長 土橋 龍介